



大島よしふみ
がまきり28号

子どもから大人までそれぞれの遊び心を「かた」が、

「かた」は、遊びの「かた」を、

「かた」は、遊びの「かた」を、

「かた」は、遊びの「かた」を、

「かた」は、遊びの「かた」を、



遊びのかた

【遊びのかた】 ▶ ワンフューチャー Vol.2

大島よしふみ・小林照尚 彫刻展

2005 **3/15** (火) → **4/3** (日) 9:00~17:00

休館日 ● 3月22日(火)・28日(月)

作家在館予定日 ● 3月19・20・21・26・27日 4月2・3日

入場料 一般300円(240円) 高・大生150円(120円) 小・中生80円(60円)
土・日・祝日はミュージアムショップがオープンします。 [協賛展料含む] ()内は団体20名以上

小林 照尚
人を運ぶバス



町立塩江美術館

〒761-1611 香川県香田郡塩江町大字安原 1-692番地
TEL.087-893-1800 FAX.087-893-1833

ヘンなもの の 記憶

大島さんと小林さんが「子どもたちにヘンなものでもらう」と言って来て、「ヘンなもの」のチラシに何か書いてもらう人を探したら、身近に候補者が一人いた(笑)と言うので難文を少々。

子どもの時、手を捻挫して慶明の接骨院に連れて行かれた記憶がある。そこで私は、接骨院の先生に言われるまま手の甲を上にして何かガラスの会の上に乗らされた。先生が木の箱のような枠のようなものを私の手の上に置いて「上からのぞいてみる」と言ったような記憶がある。言われるままにのぞいたら、私の手の骨が透けて見えた！

ような記憶があるのである。あれからおそらく40年くらい経った今でも、時々「あれは何だったのか」と思うことがある。

子どもの記憶のどこか一部分には、「ヘンなもの」の入る箱がある。この箱はたぶん、数学の公式が入る箱より頑丈にできていて、中に入ったものがなかなか消えないのである。

今回登場する作品は、外見もヘンだが(失礼)、ヘンに動いたりするらしいのである。読めるだけでなく、じれねるらしいのである。どうですか？



大島よしふみ (高松市在住)

- 1954 香川県高松市に生まれる
- 1992 徳島県立公園現代彫刻展 入選(神戸市) 第3回丸亀野外彫刻展
- 1992-93-95 個展(不二画廊 大塚)
- 1993-95-97 個展(コバヤシ画廊 銀座)
- 1994 ワークショップ(高松市美術館)
- 2000 香川県美術館 審査員
- ワークショップ(瀬田浩一郎美術館)
- 2001 個展(WORK SPACE G)
- 2002 「わがままオヤジとごくたれ息子」の二人展(松原で手仕事 高松)
- 2003 個展(花工美術) 高松
- アート見にきまひ (香川県文化会館)
- J&S FACTORY CONTEMPORARY ART ANIMO 優秀賞(カルポート 高松)
- 2004 「遊びの方向」ワンツウター 大島よしふみ・小林照尚二人展(するうが463-岡山市)

さすのび箱

風陵洞 尚照林小・ゆふも島大

小林 照尚 (岡山市在住)

- 1959 広島県三和町に生まれる
- 1992 かさねが石彫シンポジウム(笠岡市)
- 1993 第7回神戸具象彫刻大賞展 読売賞神戸市民賞(神戸市)
- 1995 彫刻公展in能生 入選(新沼剛生先生)
- 1996 第8回神戸具象彫刻大賞展 佳作賞(神戸市)
- 1997 岡山市文化奨励賞(岡山市)
- 1998 仙台市彫刻のあるまちづくり事業 作品制作(仙台市)
- 2003 岡山市立松石小学校 校門特等制作(岡山市)
- 2004 神戸市長田区震災復興メモメント制作(神戸市)
- 2004 国際彫刻シンポジウム参加 (BORCKEL EN SCHAFF/オランダ)
- 2004 「遊びの方向」ワンツウター 大島よしふみ・小林照尚二人展(するうが463-岡山市)



ちょっと遊んでみませんか?

この体験の記憶は、たぶん子どもの記憶の中の「ヘンなもの」の中に入ります。その体験の効果は即効性ではなく、かなり長期に渡って効果が続くと思います。なにしろ私はもう、40年も遊んでいるんですから(笑)。

(四国学院大学カルチュラル・マネジメント学科

教授 田尾和俊)

